

扶桑町地震対策補助金について

災害対策室 内線 352
2階 14番窓口

扶桑町では、地震発生時における被害の減少と自助による町民の防災力の向上を目的として、家具転倒防止や窓ガラス等の飛散防止、感震ブレーカーの設置等を補助対象とした地震対策費用の一部を補助します。

◆ 期 間

令和4年3月31日(木)まで

◆ 補助金の額について

1世帯につき1年度に1回を限度とし、補助対象となる地震対策の経費(消費税及び地方消費税の額を含む)の5分の4の額(100円未満は切捨て)で、1回の補助限度額は1世帯あたり1万円です。

◆ 補助対象になるもの

- 扶桑町に住民登録がある世帯主又は世帯員の方が対象です。補助対象となる地震対策は次のとおりです。
- 家具の転倒防止器具及びその取付費用
 - 家具からの食器等の落下を防止する器具及びその取付費用
 - 窓ガラス等の飛散防止フィルム及びその取付費用
 - 感震ブレーカー(分電盤タイプ・コンセントタイプ・簡易タイプ)及びその取付費用

◆ 申請手続きについて

次の書類を災害対策室へ提出して申請してください。(①、②、③は、災害対策室窓口または扶桑町ホームページから入手できます。)

- ①扶桑町地震対策補助金交付申請書
 - ②同意書(賃貸住宅の場合で、壁に穴を開ける、釘を打つ等住宅に損傷を与える恐れのあるときのみ提出が必要)
 - ③扶桑町地震対策補助金交付請求書
- 品名及び購入日が記載された領収書(原本)等支払いの事実が確認できる書類
 - 地震対策実施後の写真
- ※補助金は、口座振込になりますので、申請者本人名義の口座番号を必ずご記入ください。

保育園からのお知らせ

※状況に応じては変更となることもあります。

子育て支援センター『にこにこらんど』

(高雄保育園内)

◆電話、面接相談 ☎(92) 4152
月曜日～金曜日(祝日除く)午前9時～午後3時30分
(正午～午後1時までは閉鎖しています)

子育て支援センター『すくすくらんど』

(斎藤保育園内)

◆電話、面接相談 ☎(93) 1867
月曜日～金曜日(祝日除く)午前9時～午後3時30分
(正午～午後1時までは閉鎖しています)

◆2,3歳フロアー 当面の間、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フロアーの開催はありません。

◆利用方法について 午前のみ2部制の予約制で、予約をされた親子が利用できます。

- 1部…午前9時～10時30分(1時間30分)
- 2部…午前10時30分～正午(1時間30分)

【予約方法】 子育て支援センターおよび電話にて予約の受付をします。

- 12月 1日(水)より、12月16日(木)～12月28日(火) 利用分の受付(土日、祝日を除く)
- 12月16日(木)より、1月 4日(火)～1月14日(金) 利用分の受付(土日、祝日を除く)

【定 員】 高雄…12組、斎藤…8組 1週間に高雄は最大3日まで、斎藤は2日まで予約できます。

※「外だけ利用」および、午後1時～3時30分は、予約の必要はありません。詳しくは、各子育て支援センターにお問い合わせください。

園庭開放『ちびっこ広場』

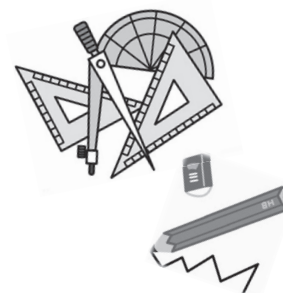
高雄西保育園、高雄南保育園、山名保育園、柏森保育園、柏森南保育園で行います。予約の必要はありません。

日時 ★12月10日(金)・17日(金) 午前10時～11時30分

- ◎遊ぶ場所につきましては、園庭のみとします。
- ◎着替え、水筒、帽子等をお持ちください。また、マスクの着用にご協力ください。
- ◎来園時は、自転車または徒歩でお越しください。

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果から見た 扶桑町の児童生徒の状況

学校教育課 内線 341 2階 11番窓口



今年5月27日に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果をお知らせします。対象学年は、小学6年生と中学3年生です。個人の状況は、既に該当学年の保護者の皆さんにお知らせしました。ここでは、扶桑町全体の傾向について報告をします。なお、記述にあたりまして「序列化や過度な競争をまねく数値の公表はしない」という方針をとっています。また、児童生徒には、個人差があります。以下に掲載させていただきました内容が誰に対してもあてはまるわけではありませんので、ご理解いただきますようお願いします。

1. 学力に関して ◎平均正答率について ◇定着している内容 ◆課題である内容

町内小学校6年生の平均正答率より	町内中学校3年生の平均正答率より
<p>◎【国語】全国レベルを上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する。 ◇自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の校正や展開を考える。 ◇目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える。 ◆文の中における主語と述語との関係を捉える。 	<p>◎【国語】全国レベルを上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇伝えたい事柄が相手に効果的に伝わるように書く。 ◇事象や行為などを表す多様な語句について理解する。 ◇書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える。 ◆書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く。
<p>◎【算数】全国レベルを上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇帯グラフであらわされた複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述できる。 ◇集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる。 ◇三角形の面積の求め方について理解している。 ◆速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察することができる。 	<p>◎【数学】全国レベルを上回っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇具体的な場面で、一元一次方程式を作ることができる。 ◇目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することができる。 ◇与えられたデータから中央値を求めることができる。 ◆データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。

2. 学習状況等に関して

- 「学校の授業時間以外に、普段1日どのくらいの時間、読書をしますか」の問いには、30分以上すると答えた児童生徒が多くいました。
- 小学校、中学校ともに、「地域の行事に参加していますか」の問いに高い結果が得られ、地域と共に活動している様子が分かりました。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに、ほとんどの児童生徒が「いけない」という意識をもっている回答を得ました。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の問いには、小学校、中学校ともにそうになりたいという児童生徒が多くいました。
- 小学校、中学校ともに、多くの児童生徒が朝食を毎日食べていると回答しており、ご家庭の協力のもとにより生活習慣が身に付いています。しかし、毎日同じくらいの時刻に寝たり起きたりすることには、していない割合が全国と比べてやや多くいました。
- 小学校、中学校ともに、「難しいことでも、失敗を恐れずにやり遂げるようにしていますか」の問いに対して、低い評価をしている割合が全国と比べて多くいました。